

# 契約変更理由書

神戸市

工 事 名	甲東ポンプ場 5 号導水ポンプ設備更新工事
<p>契約変更後の工事概要</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 導水ポンプの付属品に測温抵抗体を追加する。</li><li>2. 電動吐出し弁の構造をロングスタンド形に変更する。</li><li>3. 管体番号 2 の材質を変更し、フランジを現合溶接フランジに変更する。</li><li>4. 管体番号 5 の材質を変更し、フランジを現合溶接フランジに変更する。</li><li>5. 手動吐出し弁の撤去・据付けを取り止める。</li><li>6. 管体番号10を取り止め、管体番号10-1、10-2を追加する。</li></ol>	
<p>契約変更の理由</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 5 号導水ポンプの電気設備において、ポンプの異常を検出するために、ポンプのケーシング内部の温度を測定する測温抵抗体をポンプ付属品に追加する。</li><li>2. 現場調査の結果、電動吐出し弁の電動操作機が水没する恐れがあることが判明したため、電動吐出し弁の構造をロングスタンド形に変更し、水没対策を行う。</li><li>3 及び 4. 現場調査の結果、配管の形状の関係で、工場での製作が困難なことが判明したため、現場でフランジの溶接を行う現合溶接フランジに変更を行う。また、現合溶接フランジになるため、配管の材質をSTPGからSUSに変更を行う。</li><li>5. 手動吐出し弁の更新時には、吐出トータル弁を閉めて断水を行う必要があるが、この吐出トータル弁の動作調査をしたところ、閉動作に約 3 時間かかることが判明した。送水先の上ヶ原浄水場での断水可能時間が約 4 時間しか取れないため、手動吐出し弁の更新は不可能である。よって、手動吐出し弁の撤去・据付け作業を取り止める。</li><li>6. 上記 5 の理由により、手動吐出し弁の更新は別途工事となる。将来の手動吐出し弁の更新作業のために、管体番号10を 2 つ（管体番号10-1、管体番号10-2）に分割する。</li></ol>	

(公表様式第 6 号)